

1. 基本的な考え

当社は、コーポレートガバナンスコードの原則を重要視し、当社の業界並びに環境に即した取締役会の機能を活性化するために努力するものとする。

取締役会は、各取締役及び社外取締役、監査役、社外監査役による自己評価などを最低年1回実施し、取締役会全体の実効性について分析・評価を行うものとする。

また、その結果の概要をホームページ等で開示することとする。

2. 取締役評価基準

- ・取締役会が定期的若しくは不定期に必要な応じて開催されているかどうか。
 - ・取締役会の議案が成長性と安全性をバランスよく捕らえているかどうか。
 - ・取締役会で各役員の発言が活発な意見交換となっているかどうか。
 - ・取締役会がその実効性に関する分析・評価を行っているかどうか。
 - ・取締役会が自由闊達で建設的な議論・意見交換を尊ぶ気風の醸成がされているかどうか。
 - ・取締役会の決定事項がどのような結果になったのかが報告され評価が行われたかどうか。
 - ・取締役会が過度の保守主義で適切なリスクテイクをしない土壌を作り上げていないかどうか。
- また逆に成長性へのチャレンジとして安易にリスクテイクしすぎていないかどうか。

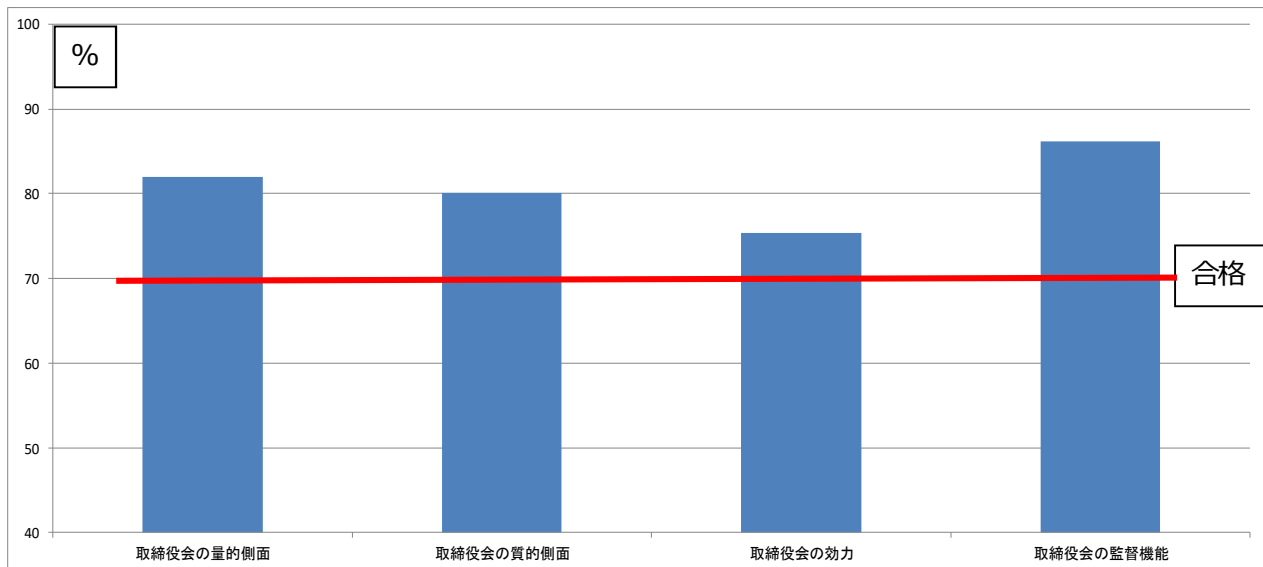
3. 2017年度取締役会改善項目

- ・取締役会資料作成の1日前倒しによる、事前検討時間の確保。
- ・取締役会資料改善による効率化の推進。
- ・企業価値向上を目指しての取締役会経営討議時間の拡大。

主な経営討議テーマ：取締役会運営の課題、各部門の方針並びに成長戦略について、コアマーケット攻略の課題、投資家へのIR対応について、与信管理関係について、CEATEC出展フォローアップ方針、海外事業戦略について、監査活動について など

4. 評価結果

取締役評価基準に則して、「取締役会の量的側面」、「取締役会の質的側面」、「取締役会の効力」、「取締役会の監督機能」の観点で取締役会評価を実施した。



取締役会の実効性としては、一定水準を充足しており十分に機能していることが認められました。しかしながら、詳細項目によっては、改善の余地があると考えております。従いまして、更なる実効性を高めるために改善施策を適宜立案し実行していきます。

5. 取締役会出席状況

2017年度取締役会開催回数：17回

(定例取締役会：12回、決算取締役会：4回、株主総会取締役会：1回)

役職	氏名	出席回数	欠席回数	出席率	欠席事由
取締役会長	北井 暁夫	17回	0回	100%	
取締役社長	小川 達哉	17回	0回	100%	
常務取締役	稲葉 淳一	17回	0回	100%	
取締役	正木 輝	17回	0回	100%	
取締役	弓削 文孝	16回	1回	94%	業務事由のため
取締役	細野 克宏	17回	0回	100%	
取締役	宮澤 清高	17回	0回	100%	
取締役	大浦 俊夫	17回	0回	100%	
取締役	吉池 達悦	17回	0回	100%	
常勤監査役	佐藤 俊彦	17回	0回	100%	
監査役	坂巻 國男	16回	1回	94%	病欠
監査役	矢内 銀次郎	17回	0回	100%	

以上